

令和2年度使用

小学校用教科用図書研究資料

書 写

宮崎県教育委員会

1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点1〕 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 単元の構成に関しては、学習の流れを「見つけよう」「たしかめよう」「生かそう」の3段階に分け学習を進めることで、学習のめあてに到達させるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の配列については、基本的事項を練習した後に国語科と連動させた言語活動「生活に広げよう」を配置することで、日常生活に生きて働く力を育成するような工夫が見られる。</p>
11 学 図	<p>(1) 単元の構成に関しては、学習の流れを「確かめて書こう」「考えて書こう」「生かして書こう」の3段階に分け学習させることで、学習のめあてに到達させるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の配列については、書き込みができる「前学年の復習」と「一年間のまとめ」を配置することで、書写技能を確認させ、日常生活に生きて働く力を育成するような工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 単元の構成に関しては、学習の流れを「考えよう」「ここが大切」「生かそう」の3段階に分け学習させることで、課題をふまえ、学習のめあてに到達させるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の配列については、他教科と連動させた言語活動「レッツ・トライ」「書いて伝え合おう」を配置することで、日常生活に生きて働く力を育成するような工夫が見られる。</p>
38 光 村	<p>(1) 単元の構成に関しては、学習の流れを「考える」「確かめる」「生かす」の3段階に分け学習を進めることで、見通しをもたせ、学習のめあてに到達させるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の配列については、国語科の教科書教材と連動させた言語活動「国語の学習に生かそう」を配置することで、日常生活に生きて働く力を育成するような工夫が見られる。</p>
116 日 文	<p>(1) 単元の構成に関しては、学習の流れを「考える」「確かめる」「いかす」の3段階に分け学習を進めることで、課題を明確化し、学習のめあてに到達させるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の配列については、これまでの学習を生かし、自分で題材を選択できる「学習をいかして」を配置することで、日常生活に生きて働く力を育成するような工夫が見られる。</p>

2 内容や指導の充実

〔観点2〕 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、身近な硬筆の文字から課題をつかませたり、自己評価だけでなく、友達との話合いで振り返りをさせたりする工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、低学年から水書による学習を取り入れて運筆を意識させたり、「書写のかぎ」で単元のねらいを明確に理解した上で活動させたりする工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、習得した技能が他の文字にどのように生かせるかを考えさせたり、他教科の学習や日常生活に広げたりする工夫が見られる。</p>
11 学 図	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、最初の試し書きから課題を見つけさせたり、練習後のまとめ書きとの比較で課題の達成を感得させたりする工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、キャラクターを活用して学習のねらいを把握させたり、「ふり返ろう」で日常生活において身に付けた技能を活用させたりする工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、「書写の資料館」で文字にかかわる様々な資料に触れさせたり、メモやはがき、便箋など実生活に生きる練習をさせたりする工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、「学習の進め方」で見通しをもたせたり、「ふり返る伝え合う」で書写の言葉を使って個の考えを表現させたりする工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、「良い姿勢と用具の持ち方」で適切な運筆を意識させたり、「ためし書きまとめ書き」で毛筆と硬筆との関連を図ったりする工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、自分の課題や目的に合った文字、筆記用具を選ばせたり、案内状やお礼の手紙など相手を意識して表現させたりする工夫が見られる。</p>

38 光 村	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、学習の流れを写真で解説したり、3年以上の各教材に「学習の進め方」を示して学習の見通しをもたせたりする工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、1・2年に「しょしゃ体操」を設け適切な姿勢と筆記用具の持ち方を意識させたり、2年以上の「たいせつ」の欄で学習のポイントをつかませたりする工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、さらに見やすいレイアウトについて考えさせたり、「漢字図鑑」で成り立ちを解説し、文字への関心を高めたりする工夫が見られる。</p>
116 日 文	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、学年の発達の段階に合わせた「学習の進め方」を示したり、自らの課題を設定して解決へ向かわせたりする工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、低学年から水書による学習を取り入れて適切な運筆能力を意識させたり、「できたかな」で学習の成果を児童に振り返らせたりする工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、「国語の広場」「生活と書写」などを配列したり、「書初め」教材を取扱い、伝統的な言語文化に触れさせたりする工夫が見られる。</p>

3 利便性の向上

〔観点3〕 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに児童にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、学習事項がひと目で分かるインデックスや利き手を配慮した書き込み欄を設けることで、円滑な活動を推進するような工夫が見られる。</p> <p>(2) 児童にとっての分かりやすさについては、毛筆教材を実際の半紙に書いた手本に近い大きさを示すとともに、インターネットを使った動画学習ができるような工夫が見られる。</p>
11 学 図	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、硬筆教材は書き込み欄を多く設けて、書いて確かめられる練習を行わせることで、学習後も学習効果を確認できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 児童にとっての分かりやすさについては、基本点画の筆遣いを朱墨写真で取り上げるとともに、筆遣いの基本点画や始筆のマーク、補助線等を用いるような工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、全学年の裏表紙に「鉛筆の持ち方」、低学年では「なぞり書き」の教材を配置することで、適切に運筆する力を高めるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 児童にとっての分かりやすさについては、文字の組み立て方を色分けして示すとともに、字形を整えるポイントを文字の比率で可視化できるような工夫が見られる。</p>
38 光 村	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、毛筆教材を大きく示し、同ページに朱墨で筆順が分かるものを掲載することで、児童が学習に取り組みやすくするような工夫が見られる。</p> <p>(2) 児童にとっての分かりやすさについては、毛筆教材で始筆から終筆までの穂先の向きや筆圧をキャラクターで示すとともに、点画のつながりを意識させるような工夫が見られる。</p>
116 日 文	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、パンダのキャラクターを通して学習のポイントや文字に関する知識を明示することで、主体的な学習が進められるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 児童にとっての分かりやすさについては、巻頭に「書く姿勢」等の写真を大きく掲載してポイントを明示するとともに、文字の大きさや配列を意識させるような工夫が見られる。</p>

【データの観点】

種目 書写

※ 表内の数値は、書写部会で設定した内容項目により全発行者について調査したものであり、数値の大小を表面的にとらえるのではなく、具体的な内容と合わせて各発行者の特徴をとらえる参考とすること。

視点		発行者	2	11	17	38	116
			東 書	学 図	教 出	光 村	日 文
共通	① 総ページ		53	51	53	53	53
	② 重さ	合本 (グラム)	138g	124g	112g	116g	124g
		別冊 (グラム)	なし	なし	なし	なし	なし
	③ サイズ	縦 (cm) ×横 (cm)	21.0 ×25.7	18.2 ×25.7	18.2 ×25.7	18.2 ×25.7	18.2 ×25.7
種目別	④ 言語活動の充実を生かした箇所		10	11	8	14	9
	⑤ 資料等の数	写真	47	41	47	43	40
		絵・図表	32	30	40	36	40
	⑥ 硬筆	教材数	14	10	10	12	14
	⑦ 毛筆	教材数	11	8	11	7	10
	⑧ 姿勢や用具の持ち方のページ数		4	4	3	4	3

※ 調査対象は、各発行者の6年生の教科書

※ ①総ページ数は、口絵や折り込みも含めた全体のページ数

※ ⑤資料等の数（写真）は、言語活動作品例などの写真は除く。

※ ⑤資料等の数（絵・図表）は、キャラクター等の挿絵や手本は除く。

※ ⑥⑦は、小単元で硬筆・毛筆を行う場合、それぞれ教材数として数える。